

1. 研究課題名：

社会経済性分析を用いた地域エネルギーシステムの
低炭素化シナリオの策定

2. 研究代表者氏名及び所属：

菊池 康紀（東京大学・総括プロジェクト機構）



3. 研究実施期間：平成 27～28 年度

4. 研究の趣旨・概要

太陽光や風力、バイオマス等の再生可能資源由来エネルギーは化石資源と比べてその密度が低いことが知られており、大規模集中型のエネルギー供給だけでは資源を有効に使いきれない可能性がある。そこで本研究では、地域に存在する農作物や森林資源といった資源を組み合わせ、実装する地域エネルギーシステムの設計・評価を行う手法を開発し、当該地域に導入した際の低炭素化や森林の代謝、雇用創出や社会インフラ整備などの環境的、生態的、社会経済的変化を予測するためのモデルを開発する。具体的な地域として種子島および佐渡島を取り上げ、エネルギーシステムの設計と社会受容性の調査・分析を行う。

5. 研究項目及び実施体制

- (1) シナリオ案の生成と策定手法の構築（東京大学）
- (2) エネルギーシステムの低炭素化評価手法の構築（東北大学）
- (3) エネルギーシステムの社会経済性評価手法の構築（神戸大学）

6. 研究のイメージ

